

フローリングの光沢をキープしたいという人!

ワックスで床を守ってギレイ長持ち プロに教わるフローリングのケア術

フローリングのワックスがけは難しいものではありません。でも、コツを知らなくて失敗したり、すぐに光沢がなくなってしまう思いをしている人も多いようです。そんな人にDIYアドバイザーの白石三代子先生が、ずばりアドバイスを！ 皆さんもさっそくトライしてみませんか？

シートタイプのワックスを使われている大塚さんの悩みは、「その時はキレイになって、すぐ床に光沢がなくなってしまう」とことごとか。「光沢を長持ちさせたい」という大塚さんの悩みを解決する方法を、白石先生に教えていただきました。

ステップ 1 床をキレイにしましょう

光沢を長持ちさせるには、床の汚れをキチンと落とすことが大切です」と白石先生。汚れたままワックスをかけるとキレイに仕上がらないだけでなく、クスマミの原因になるの

パコマ読者スタッフの大塚陽子さん(左)大阪府茨木市在住。DIYアドバイザーの白石三代子先生(右)



だそうです。手順としては、掃除機をかけて、雑巾で床を水拭きします。汚れがひどいときは「ヨスーパークリン」を使って落とし、軽く拭くだけで汚れが



ポイント

床を水や洗剤で拭くときは、雑巾を固く絞って水ダレしないようにしましょう。あらかじめワックスのかかっている床であれば、水拭きはもちろん、洗剤を含ませた柔らかいスポンジなどで軽くこすっても問題はありませぬ。



う。ただし、洗剤を使った後は、必ず水拭きを。そのままだと、ワックスの密着が悪くなってしまいますから」

ステップ 2 ワックスをかけましょう

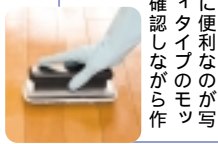
床が乾いたらワックスがけです。ワックスは、樹脂成分が多く持続効果の高いタイプがおすすりなので、今回はフローリング専用の「ウッドブライト」を使います。塗るときに注意したいのは、モップにワックス液を含めすぎないこと。



「シートタイプのワックスと光沢が全然違いますね。部屋も明るくなったみたい」と大塚さん

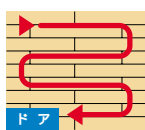
ポイント

ワックスを塗るのに便利なのが写真のようなハンディタイプのモップ。塗った部分を確認しながら作業できるので、ムラなくきれいに仕上がります。



「液を厚く塗っても床の光沢が長持ちするわけではありません。ワックスは薄く均一に、2〜3回に分けて重ね塗りするのが理想です」と白石先生は話します。

塗るときは、部屋の奥から始めてドアの方向へ。必ず自分の逃げ場を確保しておきましょう。また、木目に沿って薄く塗ることが大切です。ワックスをかけ終わった床を見て大塚さんは「すこくキレイ。床がキラキラしてまぶしいくらい」と満足そうでした。



ステップ 3 後のケアもお忘れなく

ワックスをかけた後、床に光沢がなくなってしまうのは、摩擦によってできる小さなキズが原因です。キレイを長持ちさせるなら、ホコリやゴミはこまめに掃除をしてほしいですね。あと、見逃しがちなのがスリッパの裏側。こちらにも砂ホコリなどがついていることがあるのでクリーンアップを忘ずに」

フローリングのケアには コレを使おう!

汚れを落とす



強力濃縮クリーナー
スーパークリン
プロも愛用するスーパークリーナー。床だけでなく換気扇、ガスコンロなど、頑固な汚れにも最適です

ワックスを塗る



フローリング専用樹脂ワックス
ウッドブライト
持続性の高いフローリング専用のワックス。ウレタン樹脂配合で格調高い光沢に仕上がります



汎用樹脂ワックス
クリスタード
Pタイルやクッションフロアなどにも使える汎用タイプ。こちらも光沢と耐久性に優れています



ワックスモップ
(トレ付)

ハンディワックスモップ
ワイドな塗面でワックスがけが簡単スピーディ。モップ部分は着脱式で、何度でも洗って使えます

いつも「キレイ」をすぐそばに
Ragron ラグロン
プロフェッショナルシリーズ

ラグロン株式会社
本社 〒550-0014

大阪市西区北堀江2丁目3番11号
TEL.06-6536-3271

お客様電話相談室 ☎0120-540777
http://www.ragron.co.jp

(商品についてのお問い合わせは上記まで)